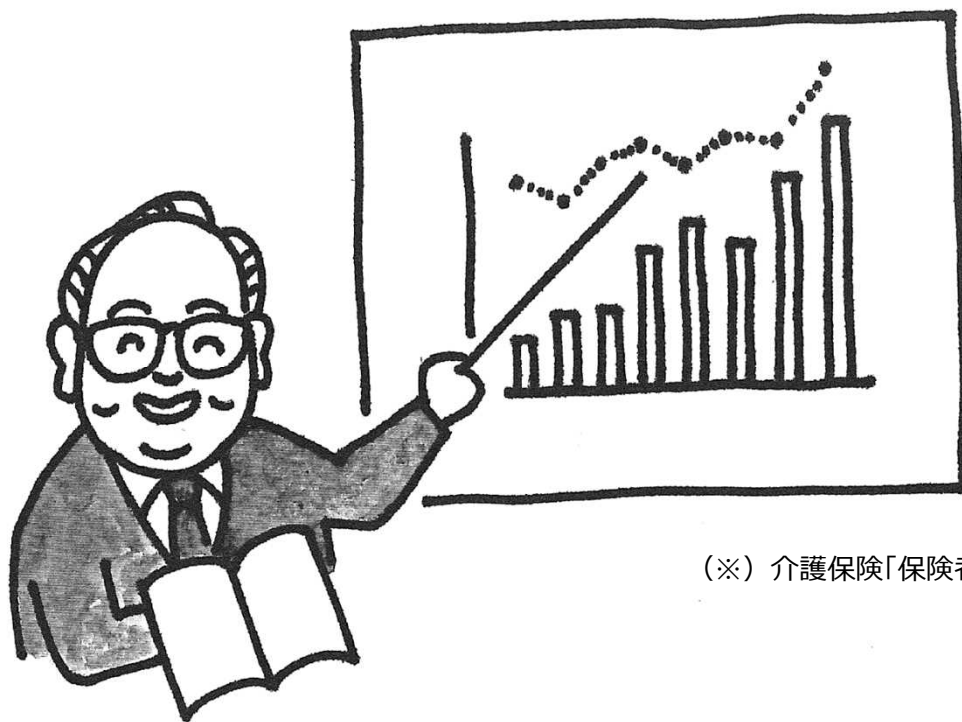


関東信越厚生局 第3回地域包括ケア事例研究会

「保険者シート」_(※)を活用した保険者分析



(※) 介護保険「保険者シート」@ 大都市における地域包括ケアをつくる政策研究会 開発
(公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団 助成)

平成31年2月1日(金)

株式会社生活構造研究所

「保険者シート」を活用した、保険者分析とは

◆介護保険制度の状況を、保険者レベルで、「時間」と「空間」の視点から考えていくことです

- 時間の視点とは、時系列で多様なまちの変化、制度改正、事業者の動きを考えること。空間の視点とは、地域で背景要因がどう違うかを考えること。
- このように、わが国の隅々に浸透した介護保険制度の状況を俯瞰したり、地域の視点から見直していくことが可能です

◆介護保険事業計画のPDCAサイクルに沿って、多様な側面からの進捗管理・分析をしていくことです

- 計画の見直しや毎年の事業更新にあたり、まちのすがた、給付、施策の推進、保険財政の基本指標に据えることができます
- 「自立支援・重度化防止」を目指す取組みを進める、介護保険事業計画の実効性を高めることが可能です

「保険者シート」を活用した、保険者分析とは

◆保険者分析の入口として、地域包括ケア「見える化」システムとの併用による、詳細な保険者分析につなげることです

- 保険者分析の入口の役割を果たすことから、いわゆる「わがまち介護保険の説明書」として、そのまま、あるいは加工して活用できます。
- さらに課題に応じて「地域包括ケア「見える化」システム」の詳細なデータで補完しながら、分析を掘り下げていくことが可能です

◆表計算・集計ソフトやグラフ作成ツールを活用して、現状・課題の共有や将来像を把握をすることができます

- 保険者シートのデータは公表されているため、政策提言、情報提供、研修、教育・研究等のあらゆる場面で活用することができます。
- それゆえ、今後は多様な見せ方や集計ツールの開発なども期待されます。

(※)「保険者シート」：大都市における地域包括ケアをつくる政策研究会 開発

(公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団 助成)

「保険者シート」_(※) を活用した保険者分析（一例）

1 保険者の特性 第1号被保険者・高齢化率 / 世帯構成 / 地域力

2 要介護者の状態像とサービスバランス

要介護・要支援認定率 / 要介護・要支援認定者数

在宅・地域密着・施設サービス給付の利用割合

中重度者への対応（平均要介護度、一人あたり給付月額（調整済み））

3 地域力 総合事業の推進力 / 暮らしを支える地域支援事業・一般施策

4 エンド・オブ・ライフ・ケア 在宅医療や看取りへの対応 / 最期を迎える場所（自宅死・施設死）

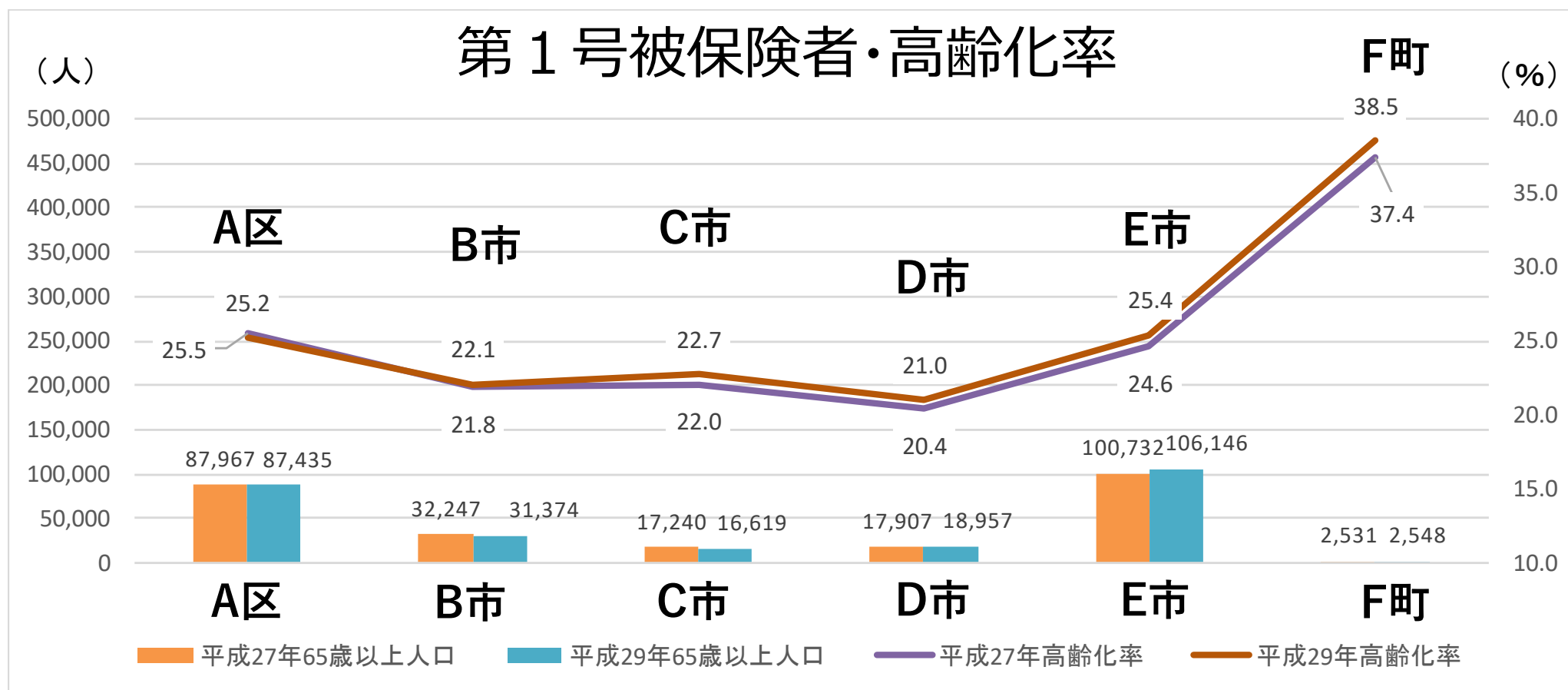
5 制度運営 わがまちの保険料構造 / 被保険者の経済 / 保険料の展望

（※）「保険者シート」：大都市における地域包括ケアをつくる政策研究会 開発

（公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団 助成）

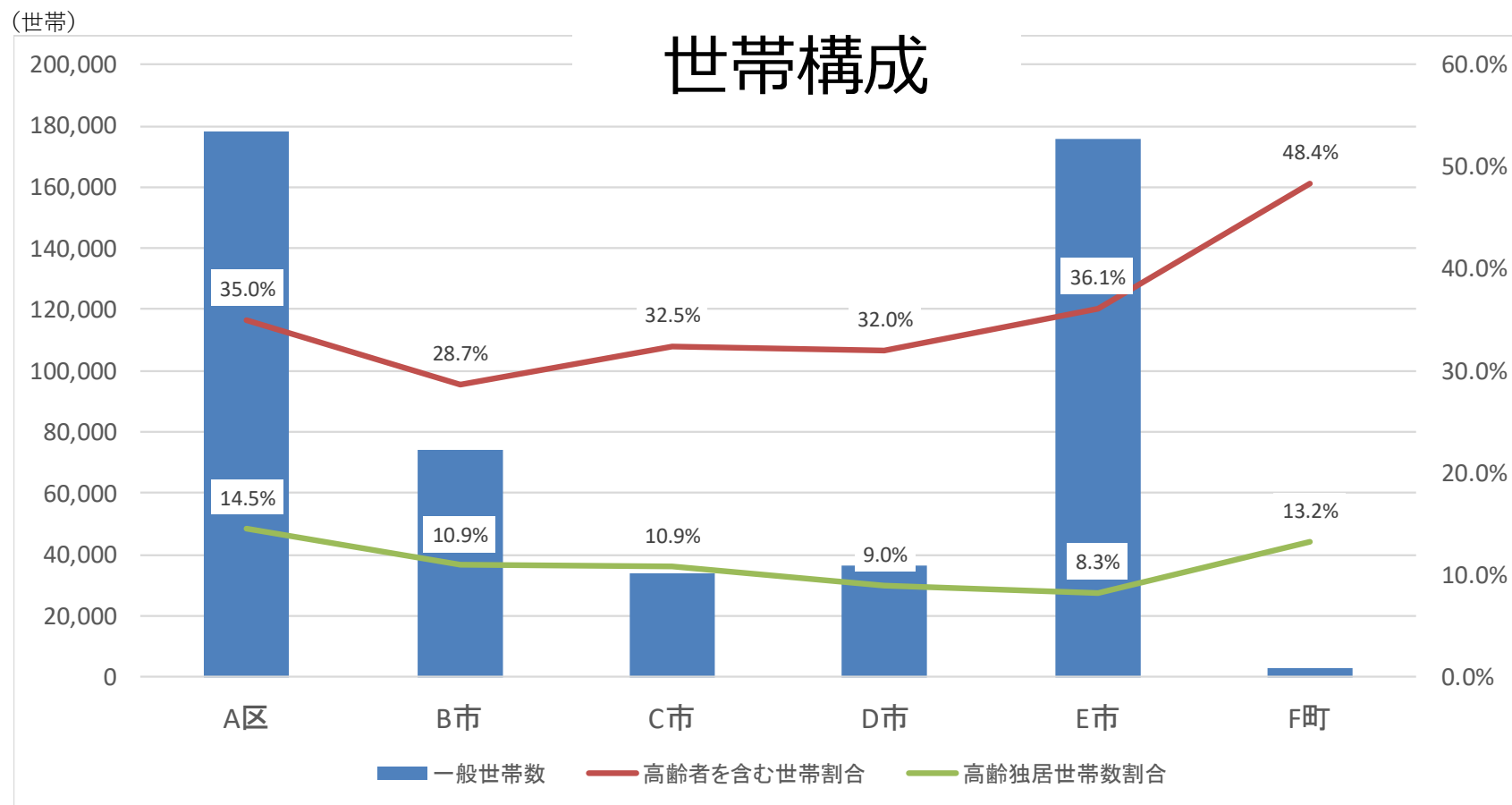
1 保険者の特性

(1) 第1号被保険者・高齢化率



1 保険者の特性

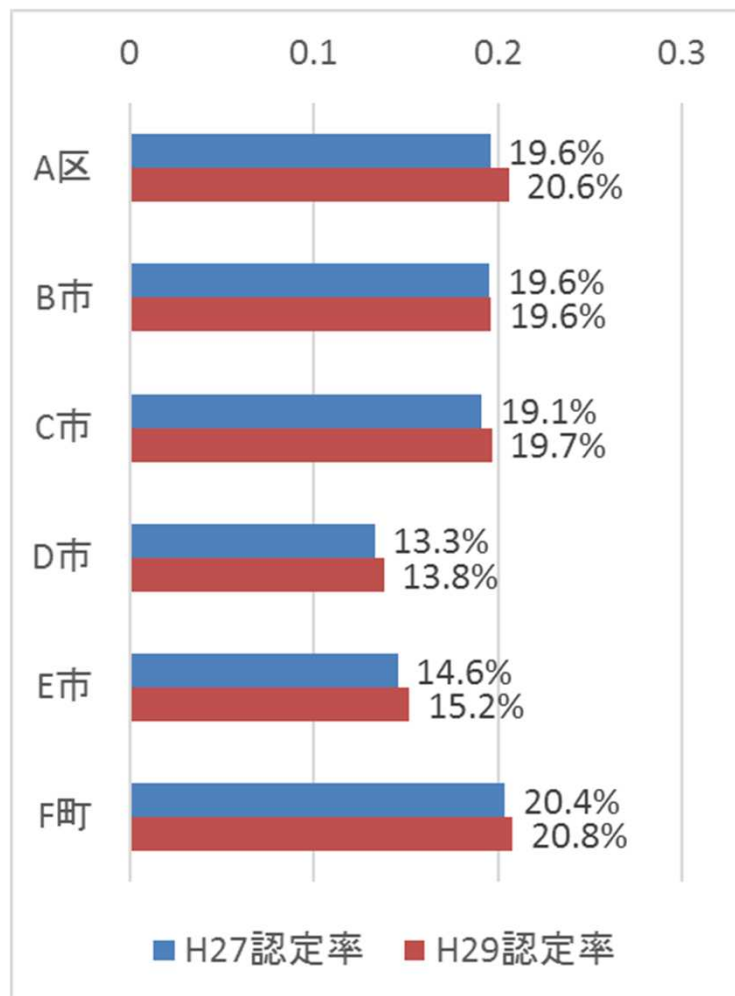
(2) 世帯構成（地域包括ケア「見える化」システムから）



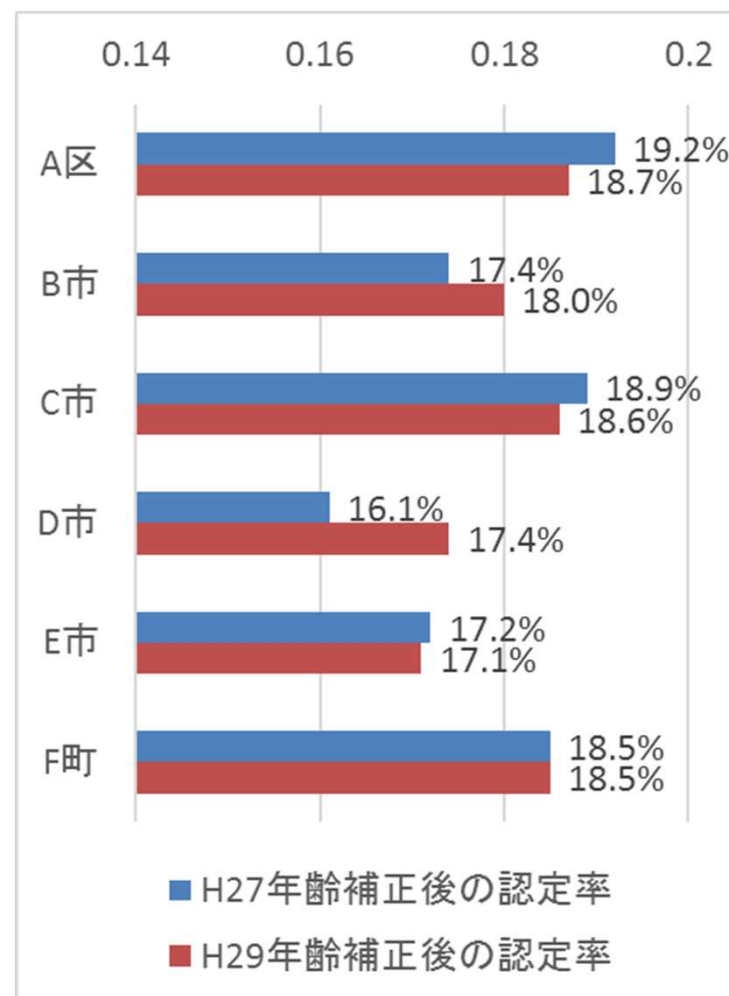
平成25年国勢調査より

2 要介護者の状態像とサービスバランス特性

(1) 認定率 (%)

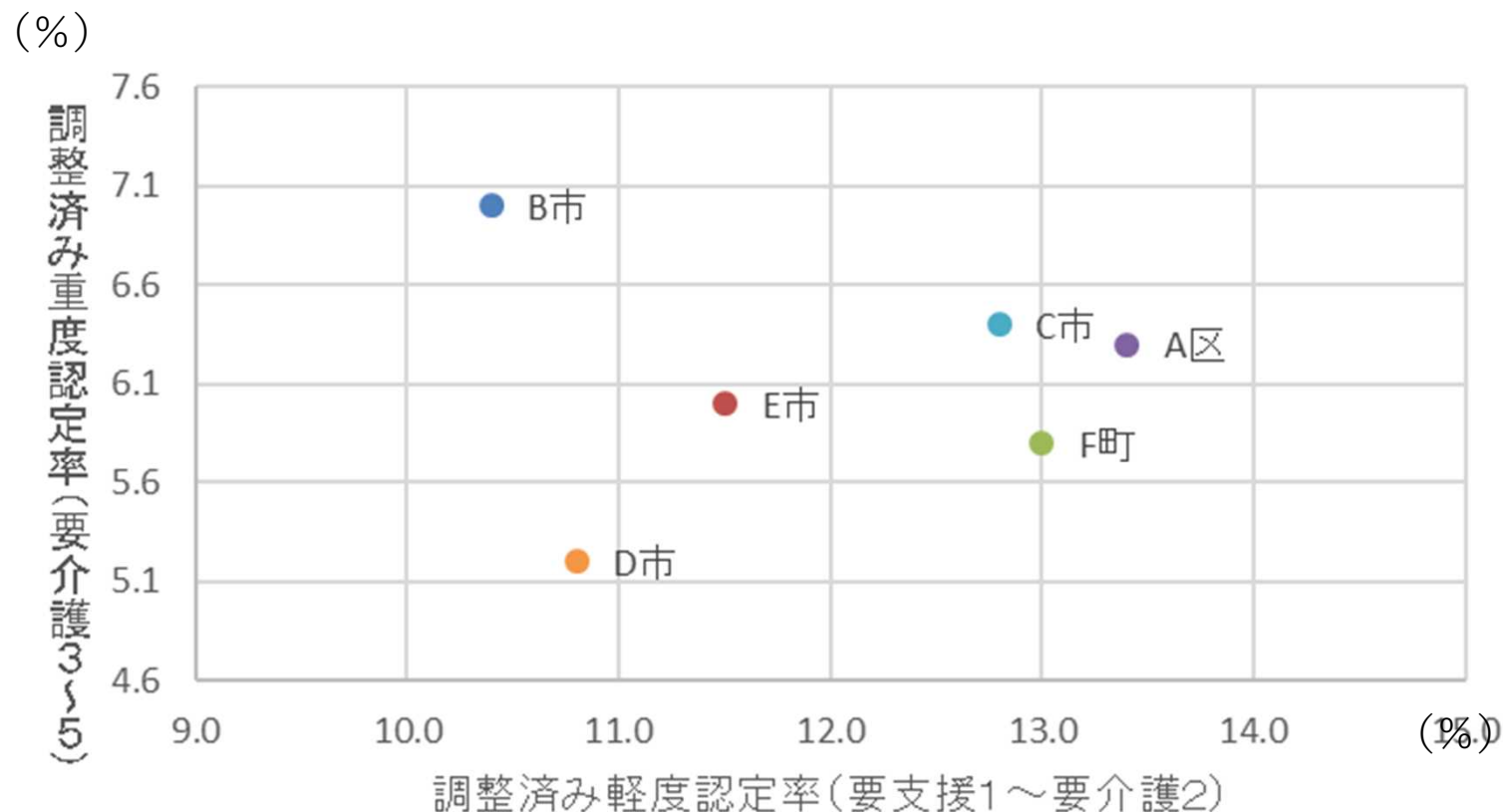


(2) 年齢補正後の認定率 (%)



2 要介護者の状態像とサービスバランス特性

(3) 調整済み軽度要介護認定率・重度要介護認定率（見える化システム）



(時点) 平成29年(2017年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成29年度のみ「介護保険事業状況報告」月報) および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

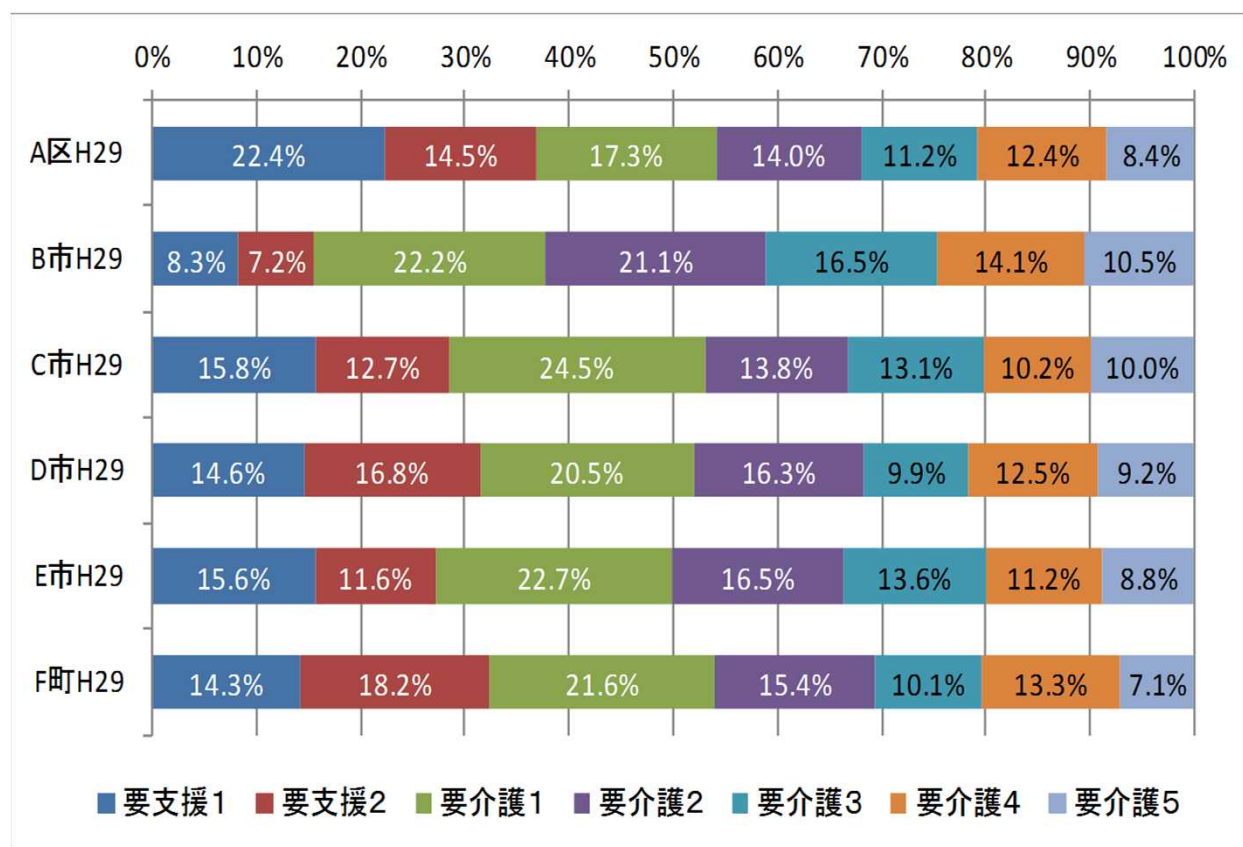
2 要介護者の状態像とサービスバランス特性

(4) 要支援・要介護認定者数と構成比

要支援・要介護認定者数（人）

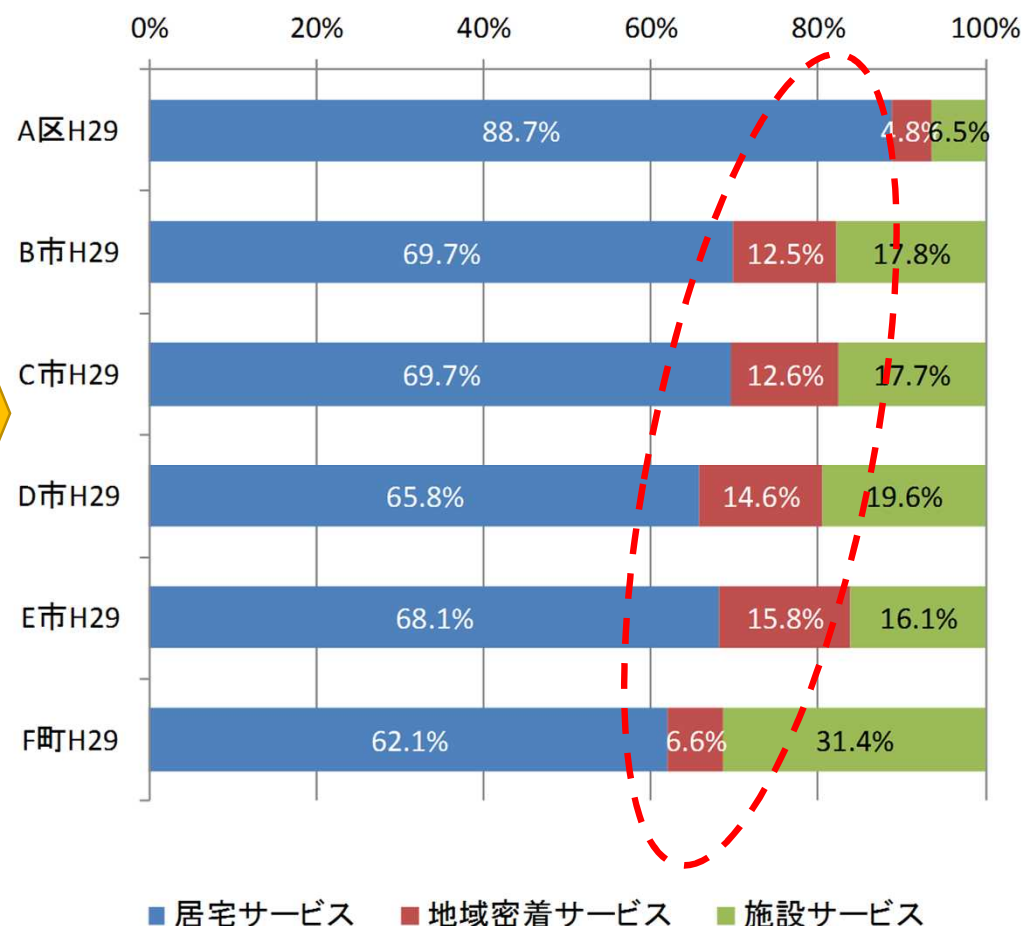
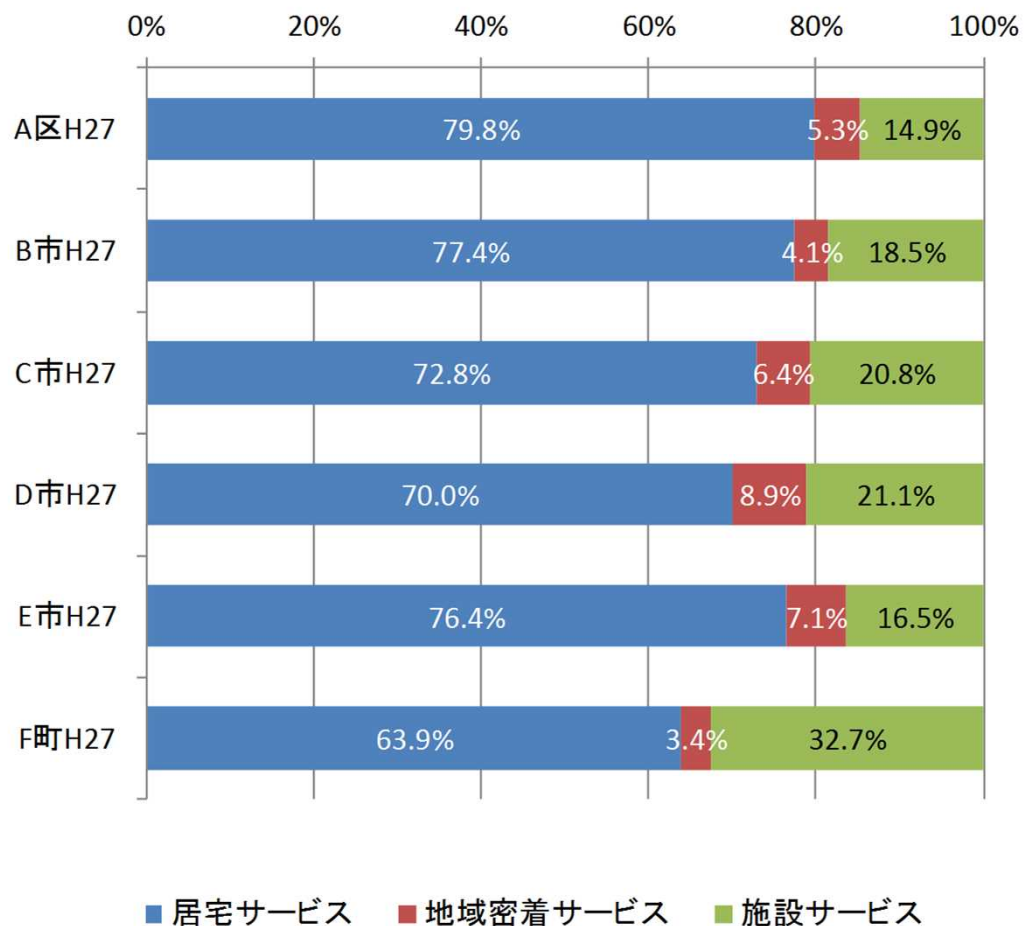
	A区	B市	C市	D市	E市	F町
要支援1	4,114	531	543	382	2,527	76
要支援2	2,660	461	436	441	1,873	97
要介護1	3,172	1,416	843	537	3,667	115
要介護2	2,572	1,345	473	428	2,659	82
要介護3	2,058	1,048	451	260	2,195	54
要介護4	2,273	897	349	328	1,808	71
要介護5	1,538	671	342	242	1,430	38
計	18,387	6,369	3,437	2,618	16,159	533

要支援・要介護認定者の構成比（％）



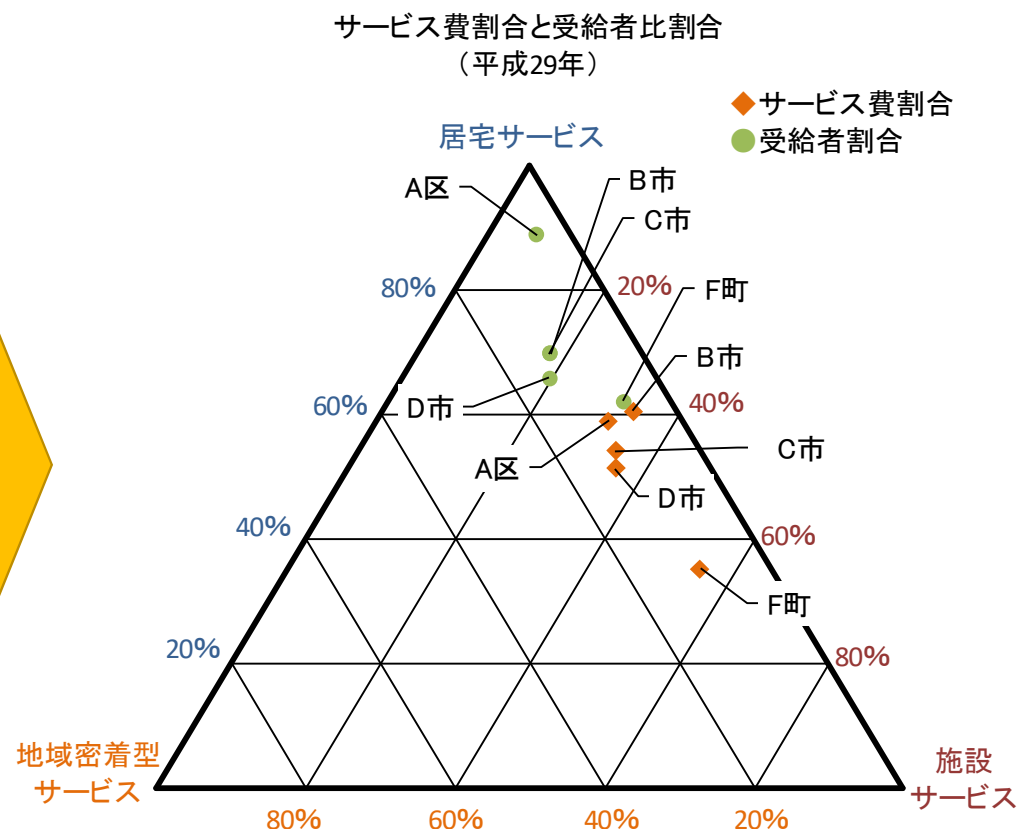
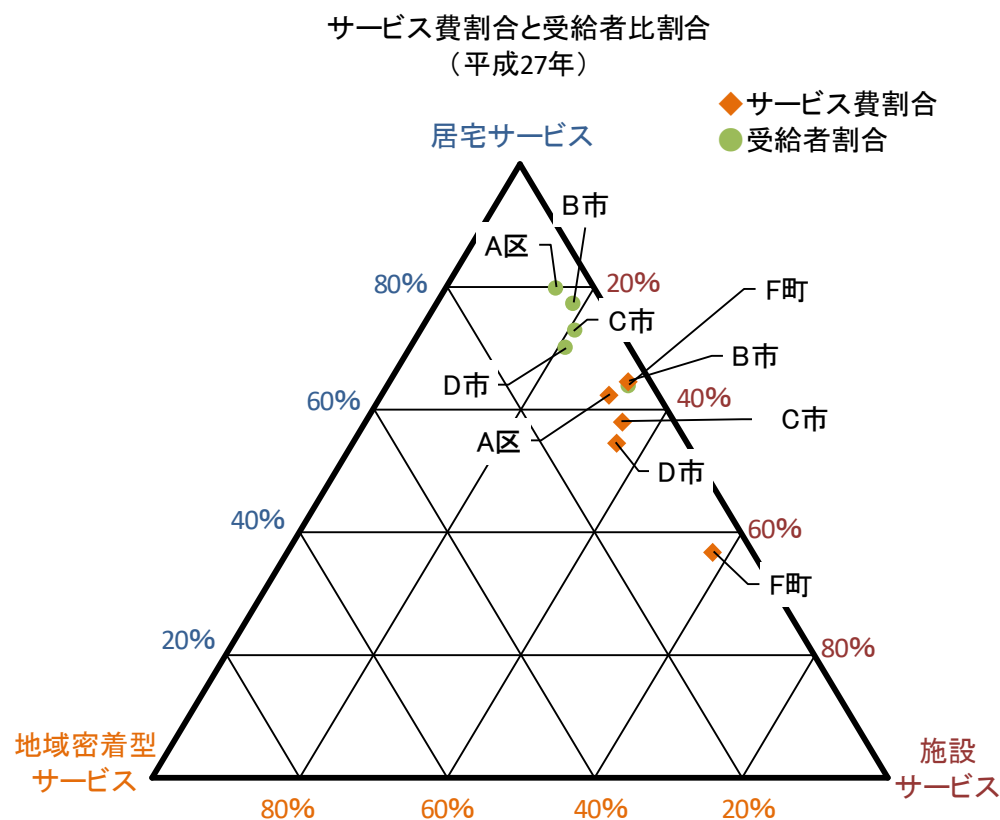
2 要介護者の状態像とサービスバランス特性

(5) 在宅・地域密着・施設給付の利用者割合



2 要介護者の状態像とサービスバランス特性

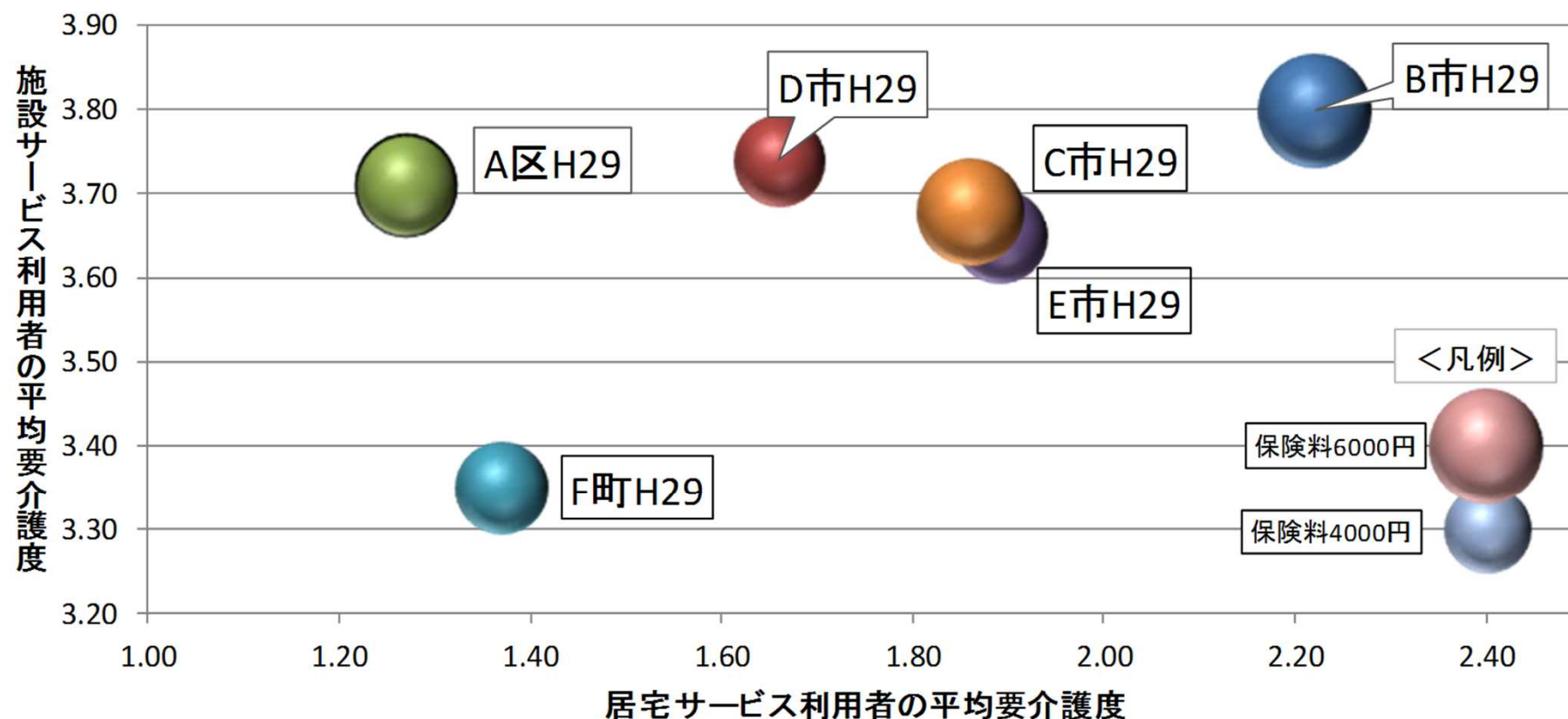
(6) サービス費や受給者割合における在宅・地域密着・施設給付バランス



Hint : 三角座標図 : clikinton等のフリーソフト利用。三角形の位置・サイズ、データ範囲 : 左辺 (A値)、底辺 (B値)、右辺 (C値) 入力

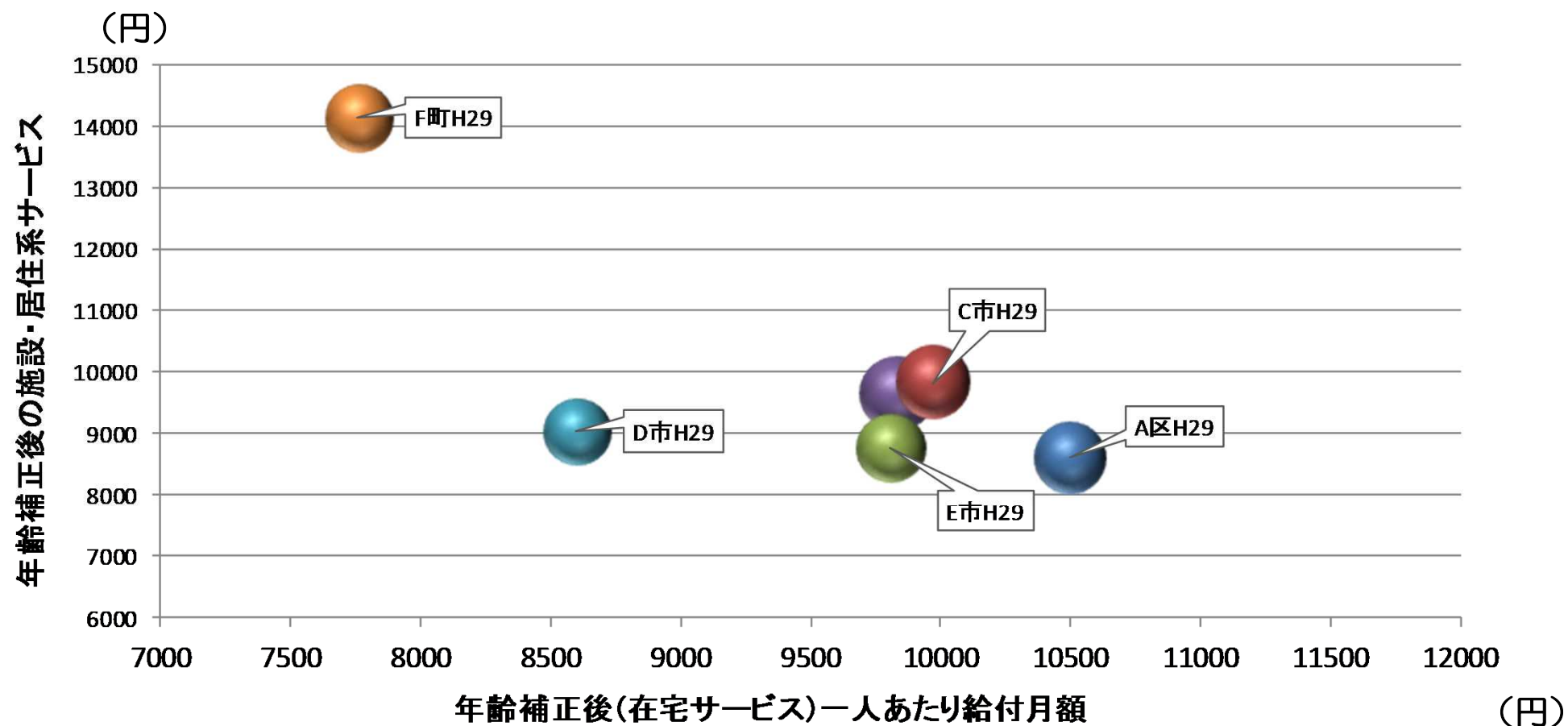
2 要介護者の状態像とサービスバランス特性

(7) 中重度者への対応 1 (施設・居宅サービス利用者の平均要介護度と保険料)



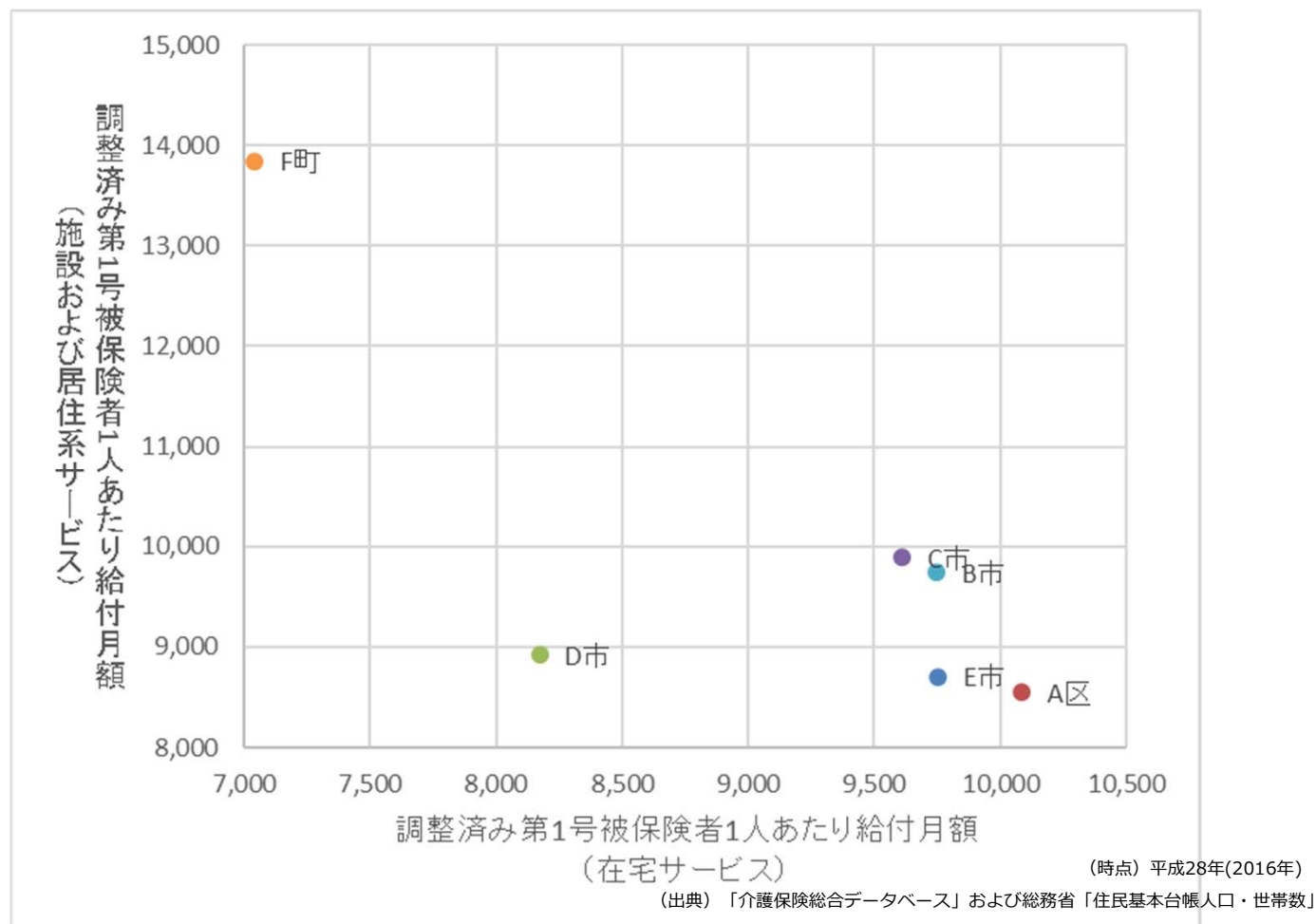
2 要介護者の状態像とサービスバランス特性

(7) 中重度者への対応 2 (年齢補正後施設・居宅サービス一人あたり給付月額)



2 要介護者の状態像とサービスバランス特性

(7) 中重度者への対応 3 (調整済み第1号被保険者一人あたり施設・在宅サービス給付月額「見える化」システムから)



3 地域力

(1) 総合事業の推進力

注：◎はH27年度から実施、○はH29年度から実施、△はH29年度未記入

	A区H29	B市H29	C市H29	D市H29	E市H29	F町H29
(1)訪問型サービス						
訪問介護（訪問介護相当）	◎	◎	◎	◎	○	○
訪問サービスA（緩和した基準によるサービス）	○	◎	◎	◎	○	-
訪問型サービスB（住民主体による支援）	-	-	-	-	-	-
訪問サービスC（短期集中予防サービス）	-	-	○	-	○	-
訪問サービスD（移動支援）	-	-	-	-	-	-
(2)通所型サービス						
通所介護（通所介護相当）	◎	◎	◎	◎	○	○
通所型サービスA（緩和した基準によるサービス）	-	◎	-	◎	○	-
通所型サービスB（住民主体による支援）	-	-	○	-	-	-
通所型サービスC（短期集中予防サービス）	◎	-	○	◎	○	-
(3)その他の生活支援サービス						
配食サービス	-	△	-	-	-	-
定期的な安否確認及び緊急時の対応（見守り）	△	△	-	-	-	-
訪問型及び通所型サービスと一体提供	-	-		-	-	-

3 地域力

(2) 暮らしを支える地域支援事業・一般施策

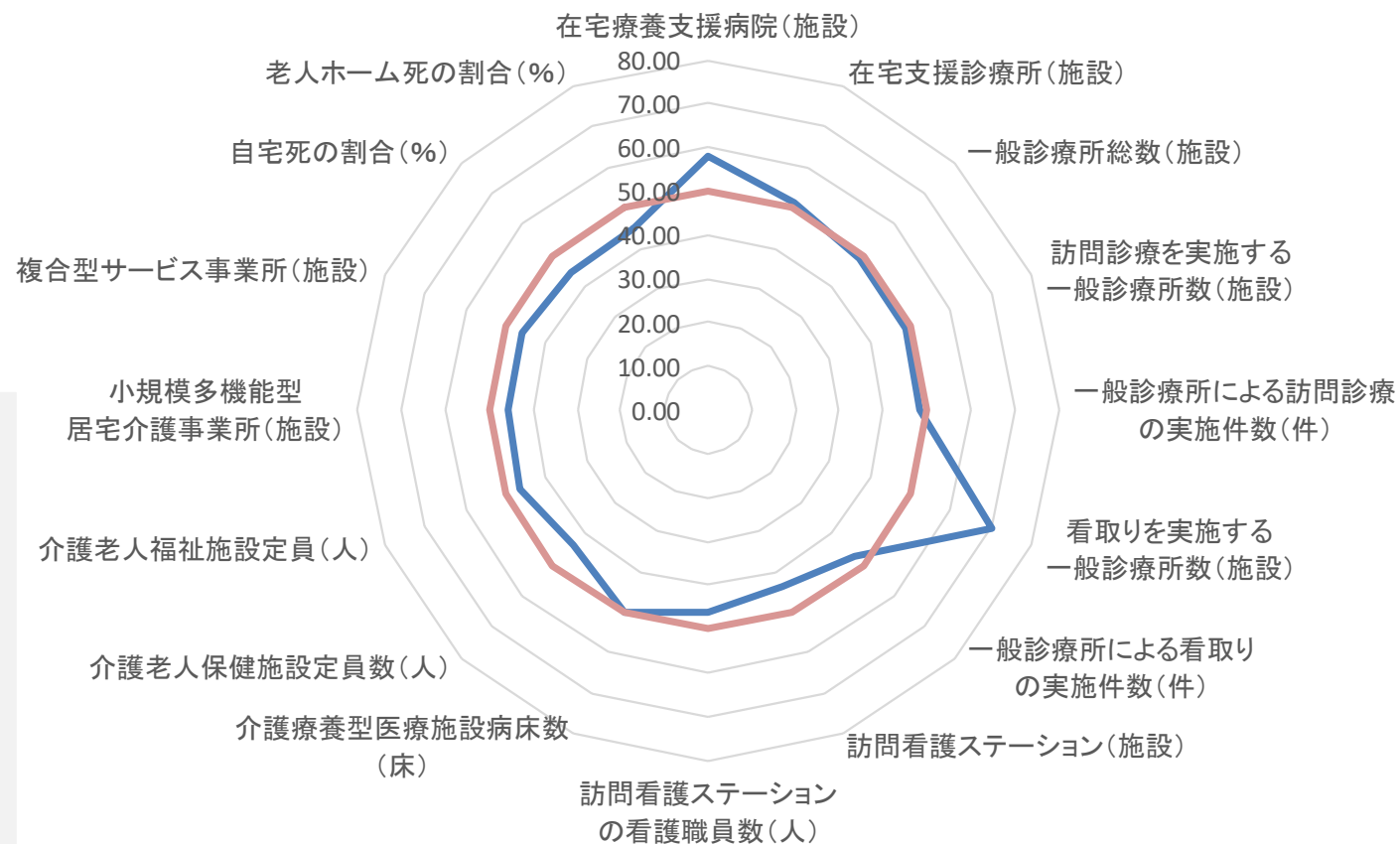
	A区H29	B市H29	C市H29	D市H29	E市H29	F町H29
家族介護支援事業	○	○	○	○	○	○
成年後見制度利用支援事業	○	○	○	-	○	-
福祉用具・住宅改修支援事業	○	○	○	-	○	-
認知症サポーター等養成事業	○	○	○	○	○	○
介護支援ボランティア事業	○	-		○	○	-
栄養改善が必要な高齢者に対する配食・見守り事業	-	○	○	-	-	-

	A区H29	B市H29	C市H29	D市H29	E市H29	F町H29
一般財源を活用した 市町村独自の介護予防・生活支援サービス	記入なし	健康体操教室 健康づくり支援事業 高齢者筋力向上プログラム、健康やわら体操健康づくり応援教室 おいしく元気アップ教室、高齢者食事学、歯つらつ健康教室、健康講座、不老体操（浴場開放） いきいきサロン事業など	配食サービス 緊急通報システム ふれあい牛乳（牛乳配達による安否確認） その他	生活支援ホームヘルプサービス 日常生活用具、住宅改修、住宅設備回収給付 火災安全システム 生活支援・緊急ショートステイ 友愛訪問員 寝具乾燥サービス 緊急通報システム	記入なし	記入なし

4 エンド・オブ・ライフ・ケア

(1) 在宅医療や看取りへの対応 1

— A区 — 平均



平成29年版保険者シート記入要領では

- ・在宅療養支援病院(施設)
- ・在宅療養支援診療所(施設)
- ・自宅死の割合(%)
- ・老人ホーム死の割合(%)

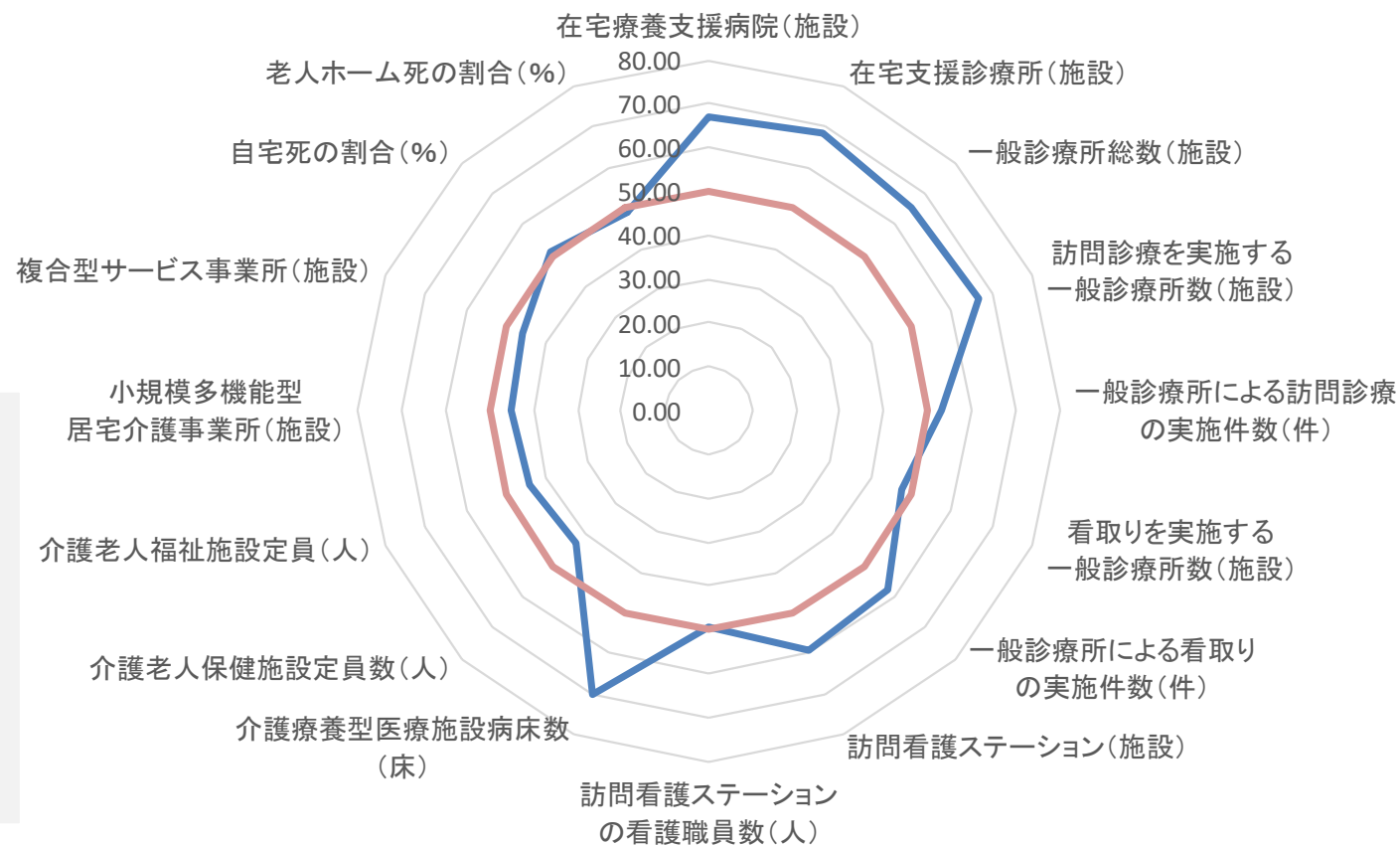
のみ掲載とありますが、本分析ではそれ以外の項目を、ご提供いただいた、平成27年度保険者シート(H27タブのデータ)から転記して用いています

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunit/suite/bunya/0000061944.html>

4 エンド・オブ・ライフ・ケア

(1) 在宅医療や看取りへの対応 2

— B市 — 平均



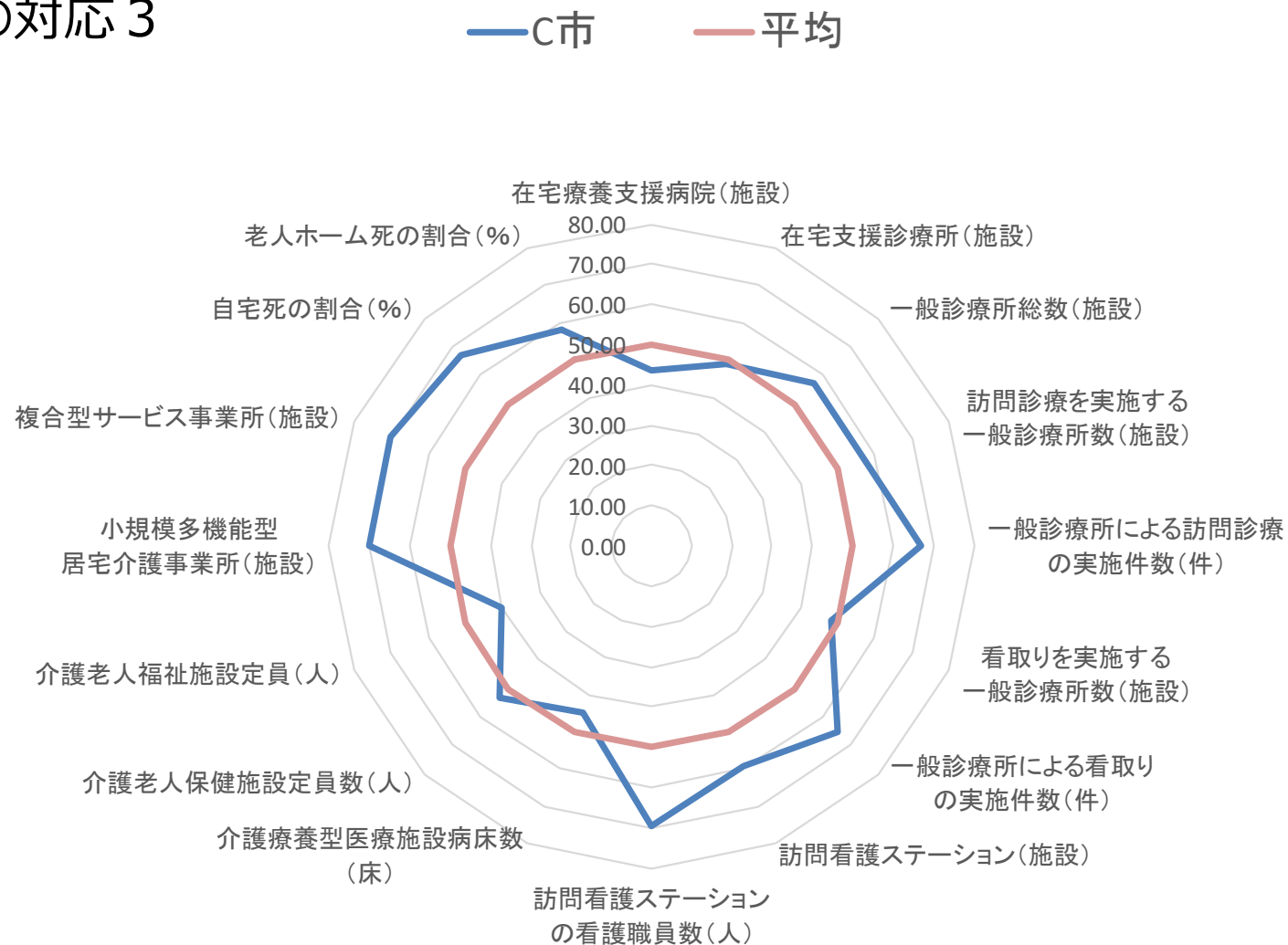
①分析対象とする市町の値を、高齢者人口で割返し (A)

②分析対象とする市町 (今回は6市町) のA平均 (AVERAGE) (B) と、B標準偏差 (STEDEV) を算出 (C)

③ (B) と (C) を用いて (A)の偏差値を算出

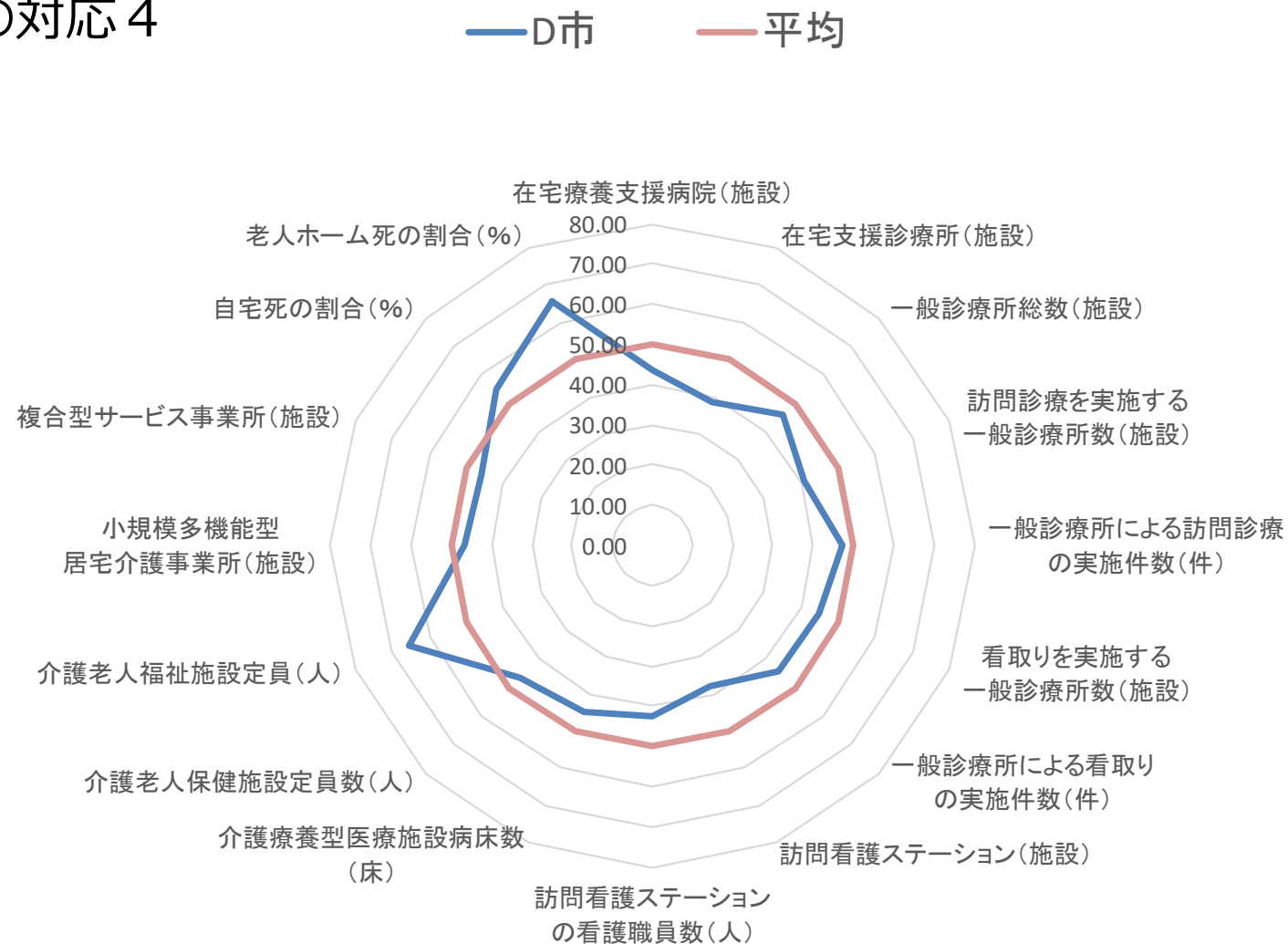
4 エンド・オブ・ライフ・ケア

(1) 在宅医療や看取りへの対応 3



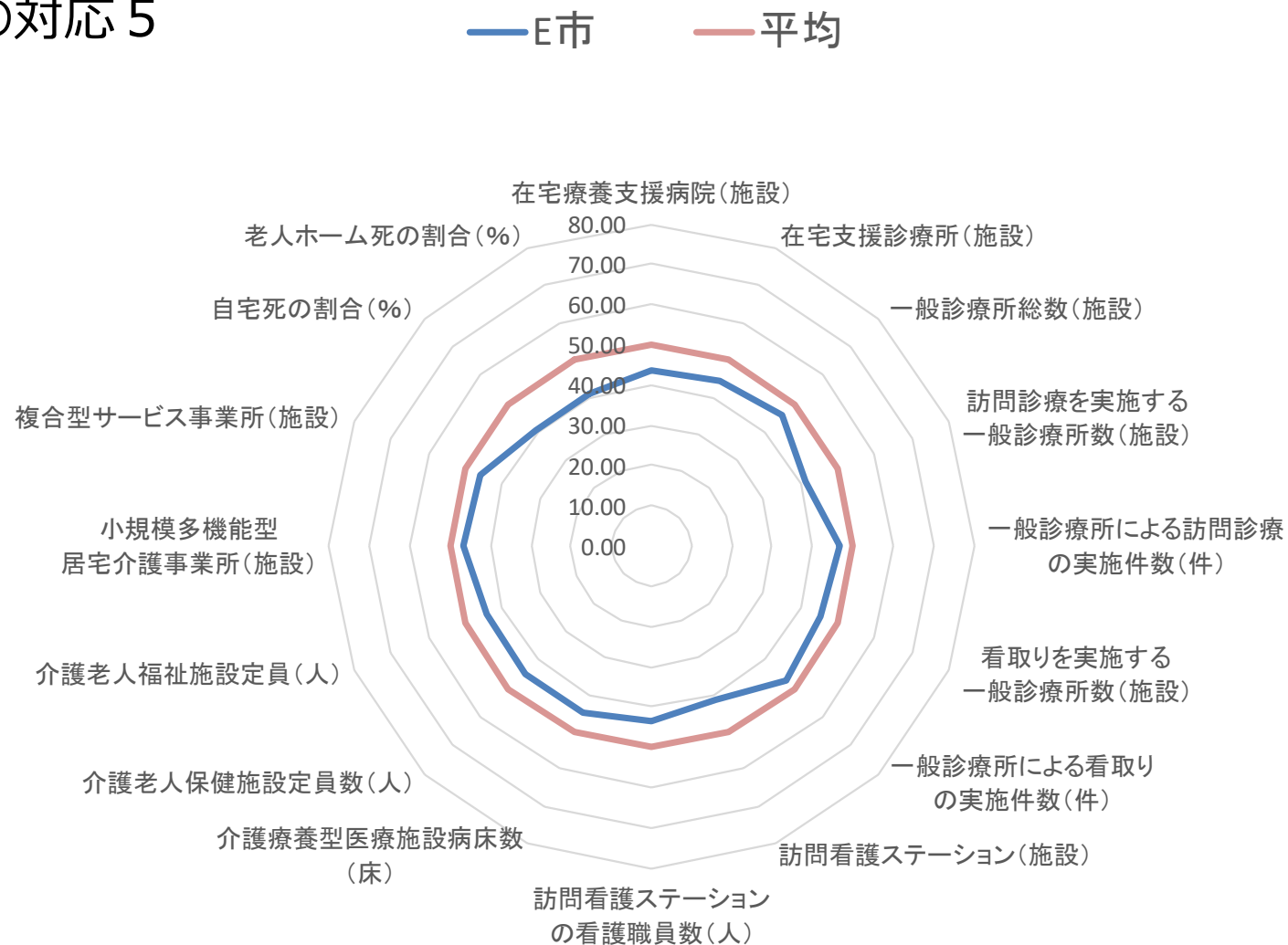
4 エンド・オブ・ライフ・ケア

(1) 在宅医療や看取りへの対応 4



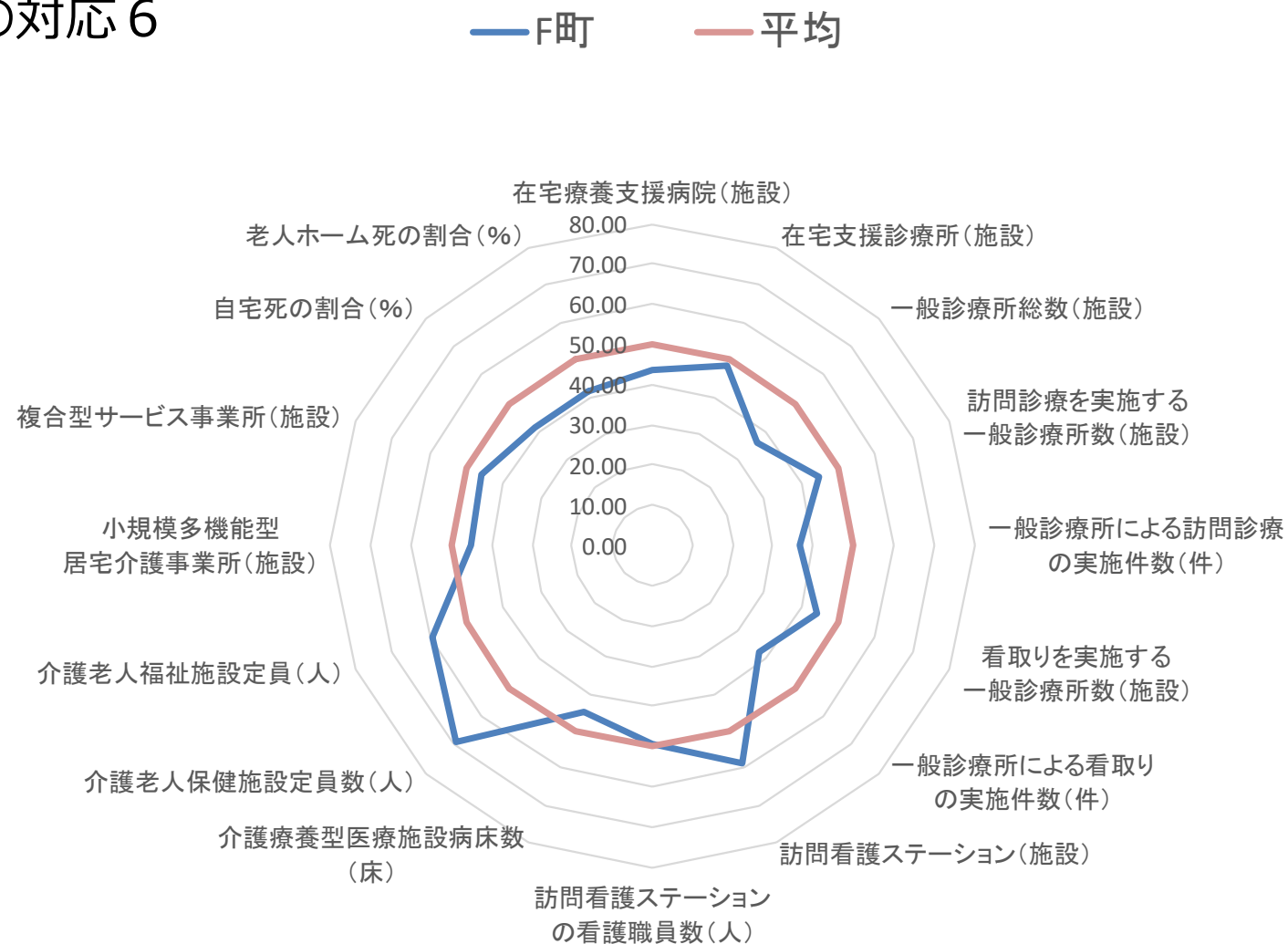
4 エンド・オブ・ライフ・ケア

(1) 在宅医療や看取りへの対応 5



4 エンド・オブ・ライフ・ケア

(1) 在宅医療や看取りへの対応 6



4 エンド・オブ・ライフ・ケア

(1) 在宅医療や看取りへの対応（高齢者一人あたり・中重度者一人あたりでの指標の絞込み例）

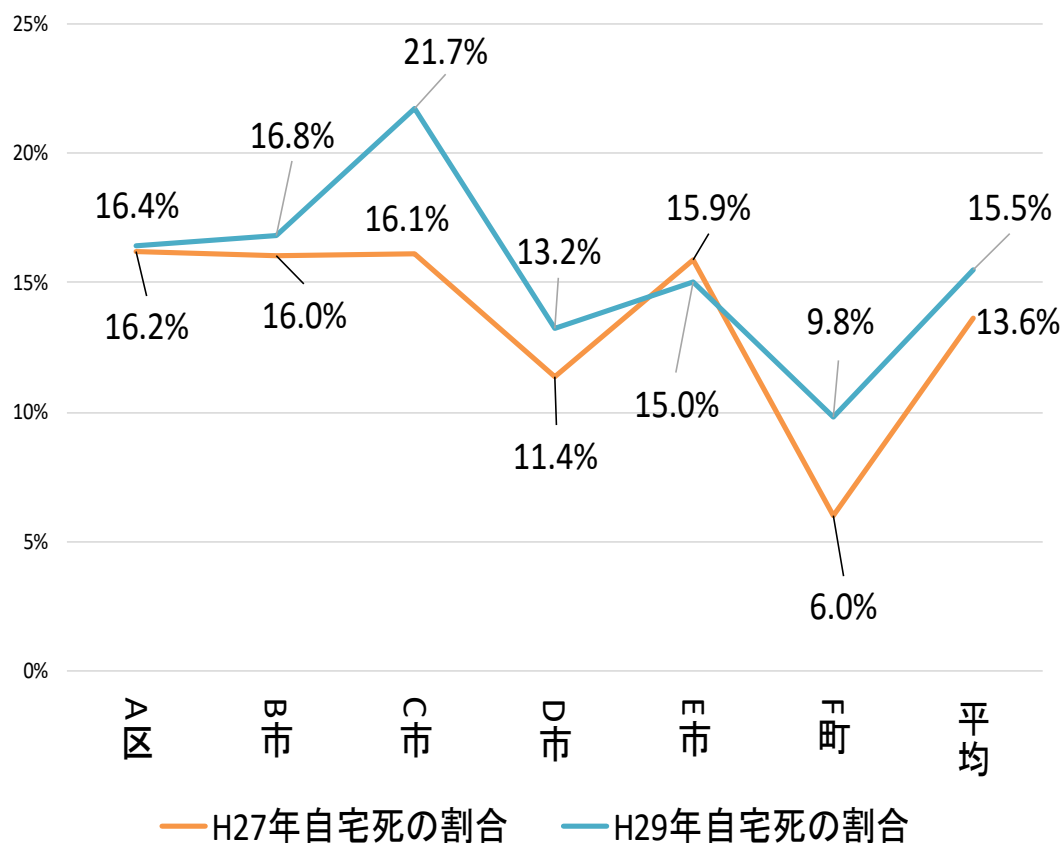
高齢者一人あたり	A区	B市	C市	D市	E市	F町
高齢者一人あたり特養定員（%）	1.1%	1.0%	0.8%	1.8%	1.2%	1.6%
高齢者一人あたり老健定員（%）	0.64%	0.52%	1.91%	1.03%	1.08%	3.95%
高齢者一人あたり療養型定員（%）	0.02%	0.11%	0.00%	0.00%	0.07%	0.00%
高齢者一人あたり在宅療養支援病院（施設）	0.01%	0.01%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
高齢者一人あたり在宅支援診療所（施設）	0.05%	0.09%	0.04%	0.02%	0.03%	0.04%
高齢者一人あたり訪問診療を実施する一般診療所数（施設）	0.05%	0.11%	0.08%	0.03%	0.04%	0.04%
高齢者一人あたり一般診療所による訪問診療実施件数（件）	2.90%	4.07%	7.47%	2.58%	3.37%	0.00%
高齢者一人あたり看取りを実施する一般診療所数（施設）	0.21%	0.03%	0.03%	0.01%	0.01%	0.00%
高齢者一人あたり看取りの実施件数（件）	0.02%	0.05%	0.07%	0.02%	0.03%	0.00%
高齢者一人あたり訪問看護ステーション（施設）	0.02%	0.04%	0.04%	0.02%	0.03%	0.04%
高齢者一人あたり訪問看護ステーションの看護職員数（人数）	0.09%	0.12%	0.30%	0.06%	0.11%	0.12%

中重度者一人あたりで	A区	B市	C市	D市	E市	F町
中重度者一人あたり特養定員（%）	16.19%	12.31%	12.70%	41.45%	21.33%	24.54%
中重度者一人あたり老健定員（%）	9.56%	6.42%	28.81%	23.49%	19.98%	61.35%
中重度者一人あたり療養型定員（%）	0.34%	1.38%	0.00%	0.00%	1.22%	0.00%
中重度者一人あたり在宅療養支援病院（施設）	0.09%	0.11%	0.00%	0.00%	0.05%	0.00%
中重度者一人あたり在宅支援診療所（施設）	0.68%	1.07%	0.61%	0.36%	0.49%	0.61%
中重度者一人あたり訪問診療を実施する一般診療所数（施設）	0.80%	1.41%	1.23%	0.60%	0.74%	0.61%
中重度者一人あたり一般診療所による訪問診療実施件数（件）	43.52%	50.15%	112.78%	59.04%	62.18%	0.00%
中重度者一人あたり看取りを実施する一般診療所数（施設）	3.15%	0.34%	0.53%	0.12%	0.23%	0.00%
中重度者一人あたり看取りの実施件数（件）	0.36%	0.61%	1.05%	0.36%	0.64%	0.00%
中重度者一人あたり訪問看護ステーション（施設）	0.34%	0.50%	0.61%	0.36%	0.51%	0.61%
中重度者一人あたり訪問看護ステーションの看護職員数（人数）	1.35%	1.49%	4.47%	1.33%	2.07%	1.84%

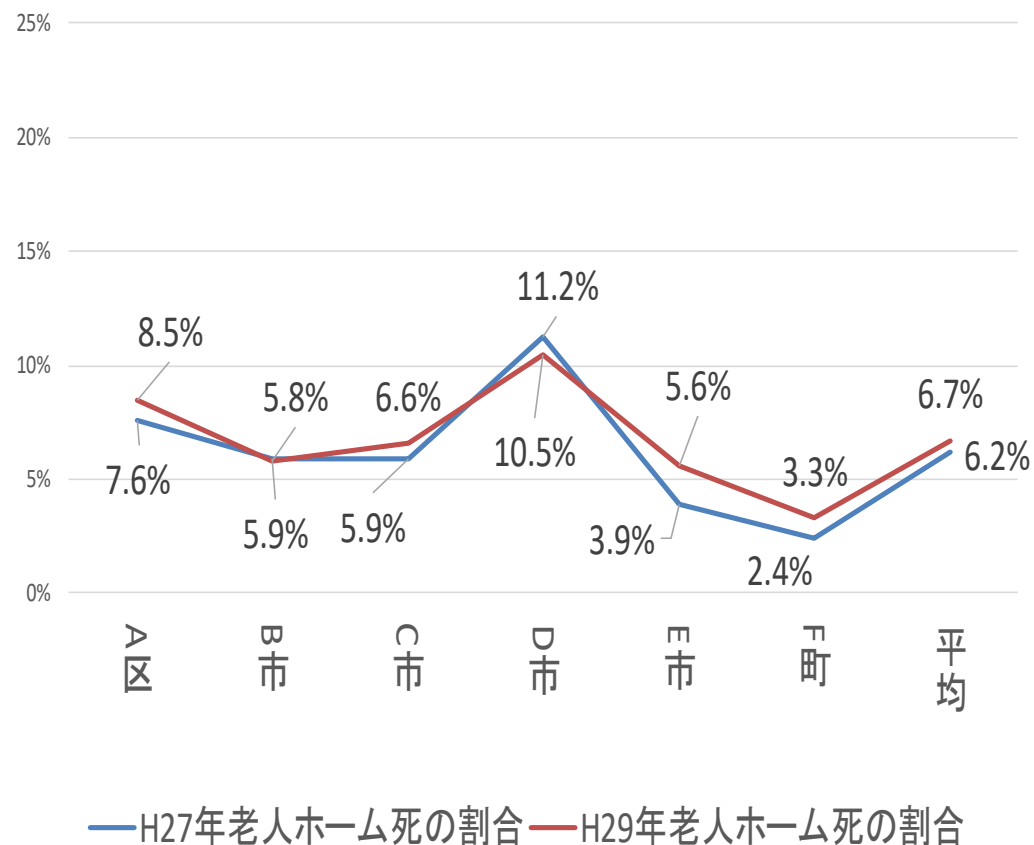
4 エンド・オブ・ライフ・ケア

(2) 最期を迎える場所（自宅死・老人ホーム死）

H27年・29年の自宅死の割合

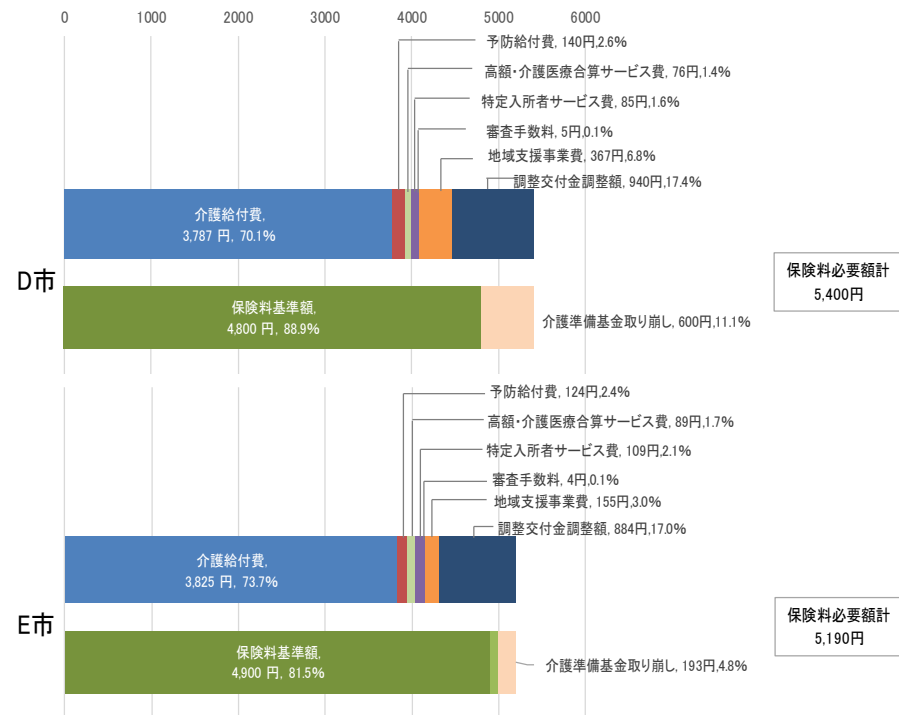
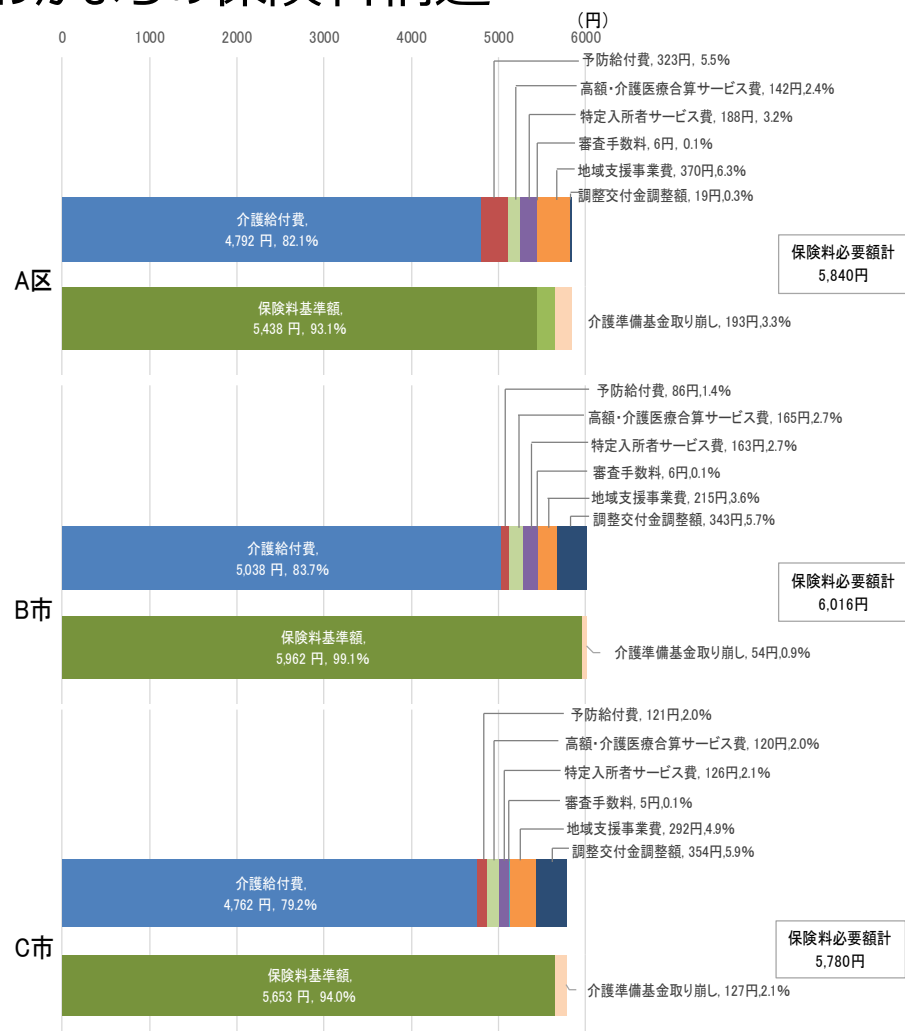


H27年・29年の老人ホーム死の割合



5 持続可能な制度運営

(1) わがまちの保険料構造



※F町は省略

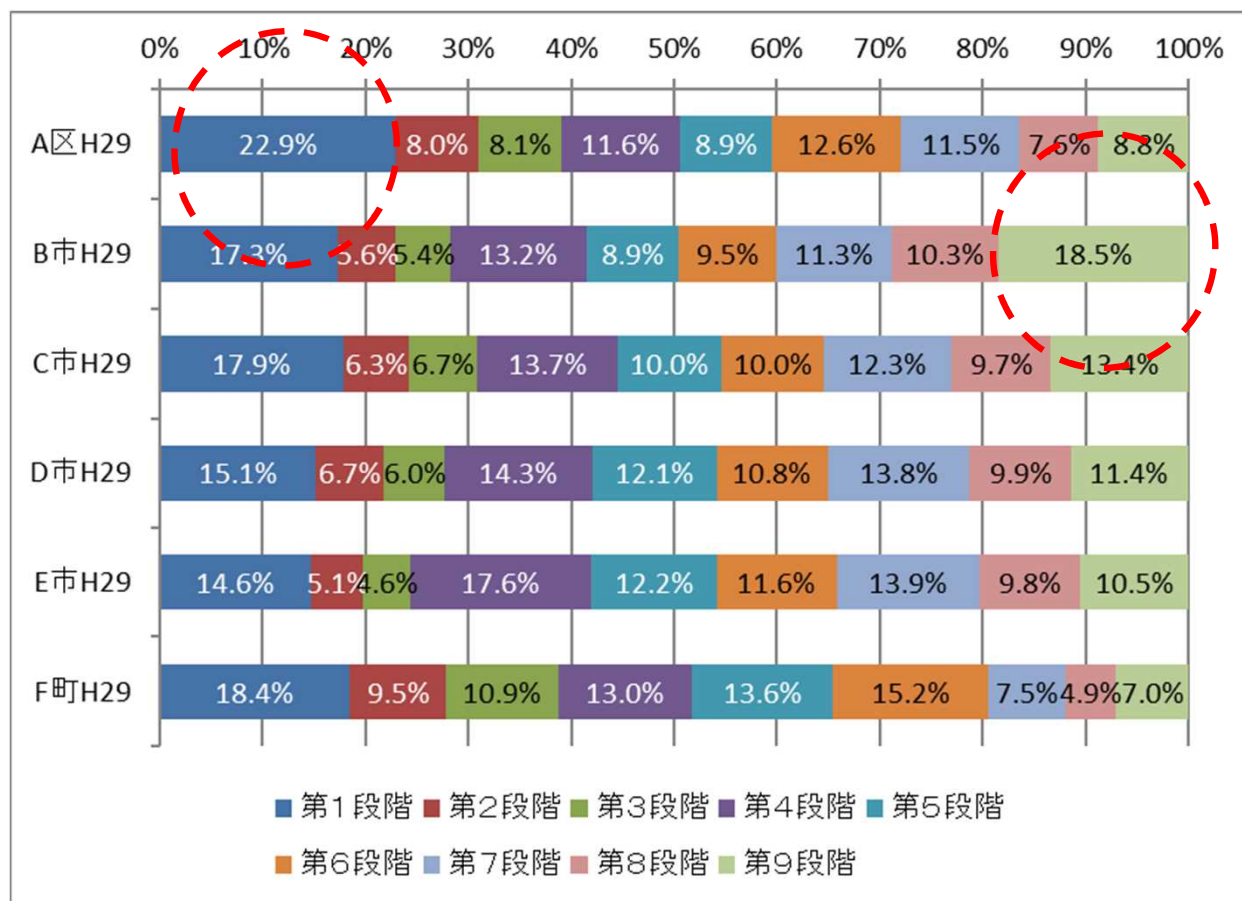
5 持続可能な制度運営

(2) 被保険者の経済状況（保険料段階）

保険料段階別第1号被保険者数（人）

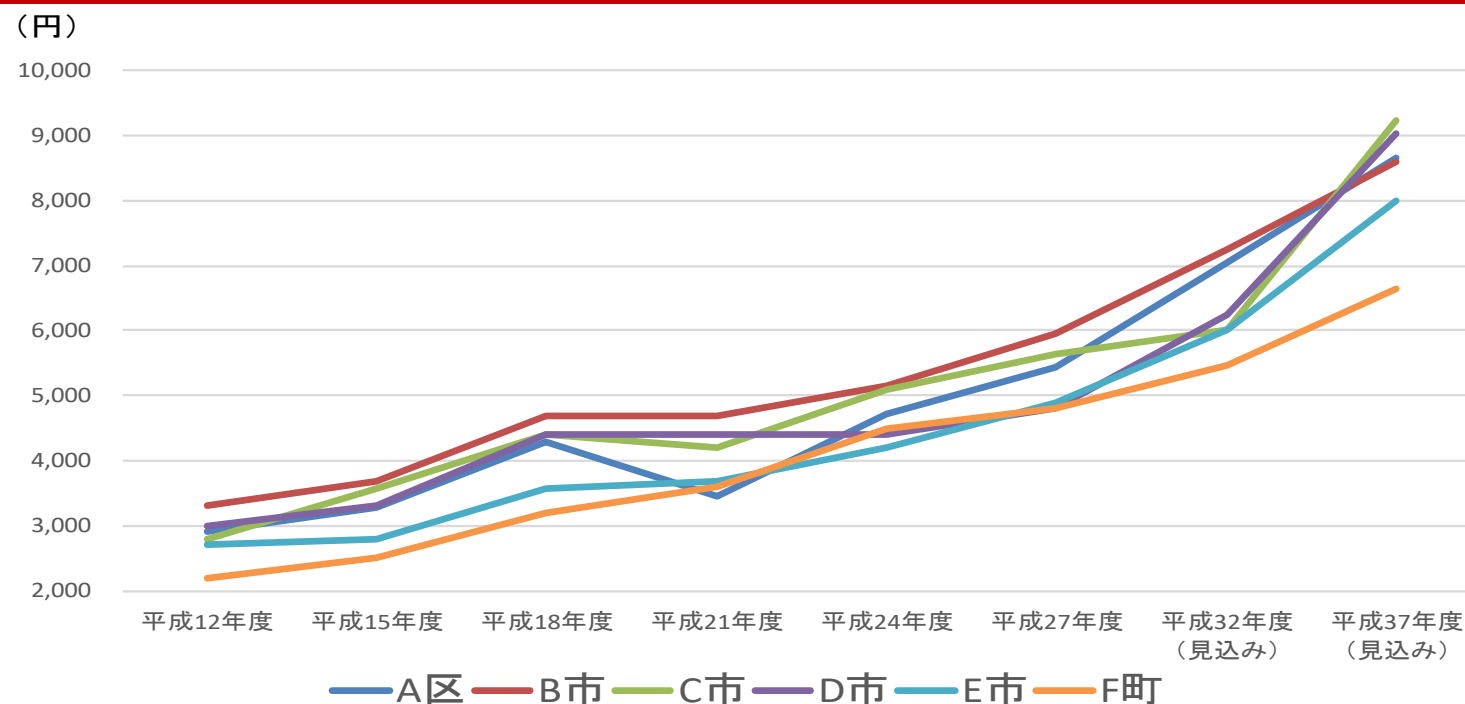
	A区	B市	C市	D市	E市	F町
第1段階	20,335	5,539	3,062	2,770	15,118	469
第2段階	7,084	1,794	1,083	1,227	5,303	242
第3段階	7,162	1,722	1,140	1,093	4,751	279
第4段階	10,245	4,215	2,346	2,628	18,136	332
第5段階	7,918	2,862	1,709	2,228	12,648	348
第6段階	11,158	3,043	1,715	1,980	12,007	388
第7段階	10,197	3,622	2,111	2,530	14,353	191
第8段階	6,694	3,280	1,662	1,811	10,131	125
第9段階	7,824	5,921	2,287	2,100	10,854	180

保険料段階別第1号被保険者の構成比（%）



5 持続可能な制度運営

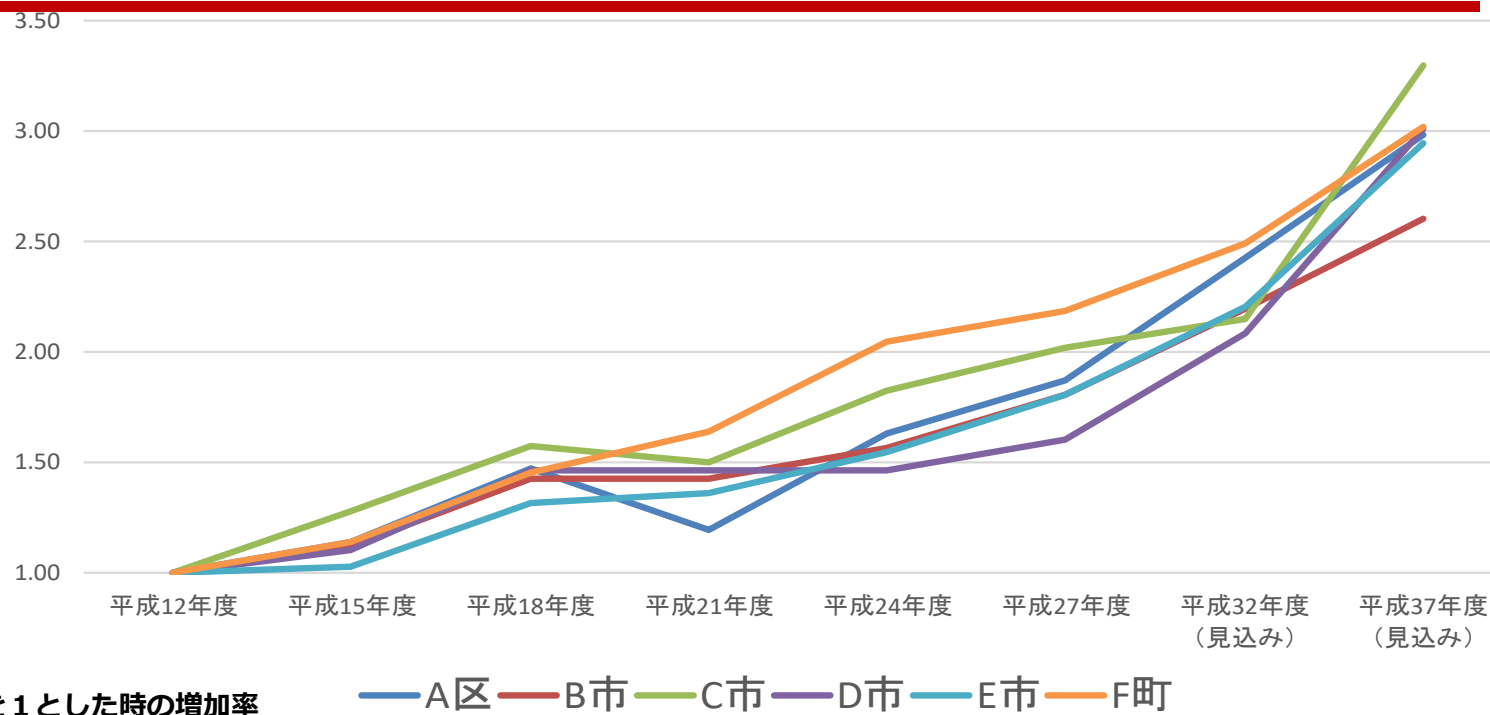
(3) 保険料の将来展望 (保険料額の推移・推計)



	平成12年度	平成15年度	平成18年度	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成32年度 (見込み)	平成37年度 (見込み)
A区	2,908	3,295	4,287	3,469	4,728	5,438	7,051	8,660
B市	3,300	3,700	4,700	4,700	5,160	5,960	7,250	8,600
C市	2,800	3,583	4,400	4,200	5,100	5,650	6,025	9,244
D市	3,000	3,300	4,400	4,400	4,400	4,800	6,255	9,039
E市	2,718	2,800	3,560	3,700	4,200	4,900	6,000	8,000
F町	2,200	2,500	3,200	3,600	4,500	4,800	5,475	6,649

5 持続可能な制度運営

(3) 保険料の将来展望 (保険料の伸び率)



	平成12年度	平成15年度	平成18年度	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成32年度 (見込み)	平成37年度 (見込み)
A区	1.00	1.13	1.47	1.19	1.63	1.87	2.42	2.98
B市	1.00	1.12	1.42	1.42	1.56	1.81	2.20	2.61
C市	1.00	1.28	1.57	1.50	1.82	2.02	2.15	3.30
D市	1.00	1.10	1.47	1.47	1.47	1.60	2.09	3.01
E市	1.00	1.20	1.44	1.53	1.80	1.92	2.09	3.01
F町	1.00	1.14	1.45	1.64	2.05	2.18	2.49	3.02